

ENVI5.5

リリースノート

Note

最新の情報に関しては、下記のリンクを参照してください。

<http://www.harrisgeospatial.com/SoftwareTechnology/ENVI.aspx>

これらリリースノートは次の項目に分かれています。

- ENVI5.5 のサポートプラットフォーム
- ENVI5.5 の新機能
- ENVI5.5 で修正された問題

ENVI5.5 のサポートプラットフォーム

ENVI5.5 のサポートプラットフォームを以下の表に示します。

これからソフトウェアをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、ライセンス認証にはネットワークカード (NIC もしくは Ethernet) が必要になります。

プラットフォーム	ハードウェア	オペレーティングシステム	サポートバージョン b
Windows	Intel / AMD 64-bit a	Windows	8, 10
Macintosh	Intel 64-bit	OS X	10.10, 10.11 c
UNIX	Intel / AMD 64-bit	Linux	Kernel 2.6.32 glibc 2.12

a: ENVI5.3 より Windows は 64-bit OS のみのサポートとなります。32bit モードの ENVI を起動する場合は、「ENVI5.5/IDL8.7 インストールガイド」の「Windows 版 ENVI / IDL の起動方法」をご確認ください。

b: サポートされているバージョンは、当該バージョンで ENVI が構築されているか (表中の最低バージョン)、またはテスト済みであることを示しています。表に記載されたバ

バージョンとバイナリ互換があるバージョンであれば、ENVI のインストールと実行が可能です。

- c: Macintosh 版のインストールには、Apple X11 X-window マネージャが必要となります。X11 がインストールされていない場合は、XQuartz よりインストールを行ってください。XQuartz2.7.11 にて動作確認されています。

推奨環境：

本製品を快適に利用するために 1GB 以上のメモリを持つグラフィックボードの搭載と、バージョン 2.0 以降の OpenGL のマシン環境を推奨します。また、搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。ヘルプシステムは HTML5 対応ブラウザを必要とします。

ライセンスサーバーのサポートプラットフォーム

本製品をフローティングのライセンスのサーバー機として使用する場合には、ライセンスサーバー (Flexnet License Server) を使用します。そのライセンスサーバーのサポートプラットフォームを以下の表に示します。なお、MacOS はフローティングサーバーとしては動作いたしません。

ライセンスサーバーをインストールするマシンが以下の条件を満たすかどうか、必ずご確認ください。また、フローティングライセンスに関しても、ライセンス認証にはネットワークカード (NIC もしくは Ethernet) を介した、インターネット接続が必要となります。

プラットフォーム	CPU アーキテクチャ	サポートバージョン
Windows 64bit	x86-64	Windows Server 2008, 2012 Windows 8, 10
Linux	x86-64	Cent OS 6.x Cent OS 7.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 6.x Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 7.x

その他：

搭載されているグラフィックボードのドライバを最新にアップデートすることを推奨します。各製品の Help は HTML5 対応ブラウザを必要とします。

ENVI5.5 の新機能

ENVI5.5 の新機能については ENVI ヘルプのトップページ「What's New in this Release」という項目をご参照ください。

ENVI5.5 で修正された問題

ID	解 説
ENVI-71084	WorldView-3 と WorldView-2 では Wavelengths と FWHM の値は異なる
ENVI-71127	データセットブラウザは緯度経度のスケールファクタを読み込んでいなかった
ENVI-71129	QUAC では NITF 形式のハイパースペクトル画像を処理する際にエラーが発生する
ENVI-71218	ENVI Classic を使用したハイパースペクトルのチュートリアルで使用していた ENVI Classic ROI が現在の ENVI で開くことができない
ENVI-71221	SVM 分類を実行後、ENVI は.MOD ファイルを削除しない
ENVI-71242	ワールドファイル (JGW) が付随した JPEG ファイルを開くと、プロジェクト選択ウィンドウの表示が遅延する
ENVI-71249	Raw データへ有効なスケールファクタを適用しなかったため、一部の ASD スペクトルが正しくインポートされない
ENVI-71254	Sentinel-2A Level-1C データの適切でない放射輝度値が Metadata Viewer へ表示される
ENVI-71260	ENVI Raster Layer::Export メソッドは、複数の画像が表示されていても一つの画像のみ保存していた
ENVI-71268	ENVI Equalization Stretch Raster は浮動小数点型のラスタ画像では処理が終了する
ENVI-71273	Class Statistics ツールは no data クラスが含まれている場合、処理が終了する
ENVI-71302	ROI statistics では Data Ignore Value の値を無視して計算していた
ENVI-71310	ENVI Raster Metadata Item Task では、ENVI5.3 では実際の値が返されるが、ENVI5.4 ではオブジェクトのリファレンスを返すように変更されたため、例コードの出力結果に誤りがあった

ENVI-71341	データセットブラウザを使用し HDF5 データを開く際に 1D のジオメトリバンドは適用されない
ENVI-71345	テンプレートではデータセットブラウザからインターリーブの選択を取得しなかった
ENVI-71347	"Open Hierarchical Data" ヘルプトピックの"Change Interleave"では明確な説明が必要だった
ENVI-71350	プリファレンス設定によってバンドアニメーションが終了する
LIDAR-69031	参照シェイプファイルをインポートするとシェイプファイルが境界外にあるというエラーが発生します。
CLASSIC-46388	Eigenvector テーブルは適切にラベル付けされていない